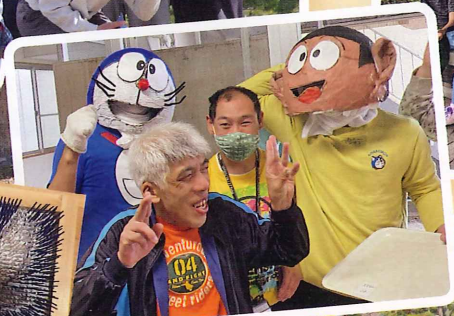


# のぞみ

## Vol. 33

令和3年11月1日発行



発行 .....

社会福祉法人 同 仁 会	TEL. (0863) 71-0110
障害者支援施設 のぞみ 会 園	TEL. (0863) 71-0110
共同生活事業所 のぞみホーム	TEL. (0863) 71-0110
相談支援事業所 のぞみ	TEL. (0863) 71-0110
生活介護事業所 グレイス	TEL. (0863) 71-0188
地域活動支援センター こだま	TEL. (0863) 73-5018
地域密着型特別養護老人ホーム 笑 福 亭	TEL. (086) 277-6300
就労継続支援A型事業所 ホープオブライフ	TEL. (0863) 73-5052
放課後等デイサービス事業所 こだまクラブ	TEL. (0863) 33-3717
就労継続支援B型事業所 フクちゃんのパン屋さん	TEL. (0863) 23-4780

旧社会福祉法人 自然の森 .....

就労継続支援B型事業所 エスポアール・セルブ	TEL. (086) 284-8004
生活介護事業所 エスポアール・スター	TEL. (086) 284-8090
相談支援事業所 相談支援事業所エスポアール	TEL. (086) 284-9002
生活介護事業所 エスポアール・クワノ	TEL. (086) 274-6677
救 護 施 設 たましま寮	TEL. (086) 522-2230





昭和58年に、つだか作業所・共同ホームが開所され、運営委員長に同仁病院院長の故遠迫克実氏が就任されました。つだか作業所には、身体障がい、知的障がいの方をはじめ、難病や精神障がいの方が通所され、共同ホームには、岡山県立誕生寺養護学校（現岡山県立誕生寺支援学校）出身の玉野市の方々や森永ヒ素ミルク中毒事件の被害者の方々が生活されていました。

当初は、つだか作業所の法人化を目指していましたが、玉野市に知的障がい者の支援施設がなかったことから玉野市、手をつなぐ親の会（のぞみ会）から協力依頼があり、運営委員会で協議検討の結果、つだか作業所の法人化を先延ばしにして、玉野市の施設づくりを優先しました。昭和63年に、同仁会が設立認可され、翌年平成元年4月にのぞみ園が開設されました。初代理事長に故遠迫克実氏、園長に故松岡正博氏が就任されました。

一方岡山市からも障がい者の通所施設が少ないことから、つだか作業所の法人化と授産施設の設立要請があり、当時は、一法人一施設が厚生労働省の方針でしたから、平成5年に自然の森を設立し、初代理事長に同仁会理事であった故黒川克己氏が就任され、平成6年4月に障がい者通所授産施設エスポアール・ワーク（現就労継続支援B型事業エスポアール・セルプ）を開設し、初代施設長には、のぞみ園指導課長片山健氏が就任しました。また、法人理念も隣人愛と共同・自立の精神も共通できわめて近い関係にありました。かれこれ30余年がたち、この度、国の方針も中規模多施設へと変わりましたので“基盤強化”“福祉の充実”コロナ禍に立ち向かうため、合併しました。

社会福祉事業を取り巻く環境が激変している中、この合併が、社会福祉法人の規模の拡大、様々な課題に立ち向かえる強固な基盤づくり、組織の活性化等に繋がるものと考え、自然の森は消滅しますが同仁会に全面協力する所存であります。共に手を携えて今後の同仁会の発展に寄与したいと思っています。

## 社会福祉法人同仁会と社会福祉法人自然の森が 令和3年6月1日に合併致しました。

### 自然の森 施設紹介

就労継続支援（B型）事業所  
エスポアール・セルプ

岡山市北区福谷53番地



相談支援事業所  
エスポアール

セルプと同一敷地内の事業所

生活介護事業所  
エスポアール・スター

セルプと同一敷地内の通所事業所



生活介護事業所  
エスポアール・クワノ

岡山市中区桑野525番126  
高齢者事業施設 笑福亭の敷地  
内にあります。



救護施設 たましま寮

倉敷市玉島八島1385-1





## 監事・評議員退任式

今年度退任された評議員の皆様へ感謝状と記念品を贈呈しました。長年のご支援に心より感謝致します。



監事 小川栄一様 評議員 岡本和徳様 評議員 平井 功様  
評議員 岡 昌巳様、小橋 秀臣様を含めた5名の方が退任されました。

## コロナ禍での家族会と行事～のぞみ園～



家族会ではご家庭でも  
新型コロナウイルスの  
感染防止対策ができるように  
対策セットを購入して  
配布しました。



園内で社会見学。のぞみ科学館とおみやげ屋さんを開催



玉野光南高校吹奏楽部の方が  
観て楽しめるDVDを  
作ってくれました。

夏祭り



コロナ禍でも利用者  
に楽しんでもらえるよう  
行事では、創意工夫を



コロナ禍での交流・演奏会のDVD上映会



クリスマス会



新年会



お花見



## 障害者支援施設 のぞみ園

障害者支援施設のぞみ園は、昨年度は新型コロナウイルスとの闘いから始まりました。

度重なる緊急事態宣言では、利用者の方には今まででは考えられない不便さ、不自由さを感じざるを得ない生活を送っていたかなければなりません。日中活動、帰宅の制限などでストレスも多々あったと思います。

そのコロナ禍でも夏以降は職員の取り組みで今までの行事を状況に合わせて工夫して行えるようにしていき、利用者の気分転換につながるようなサービスを提供しました。

厳しい条件の中での取り組みなので、不十分なものではありませんでしたが、終息の訪れを待ちつつ今後も感染防止策を最優先し、支援の質を維持できるように努めていきたいと思っています。



## 共同生活事業所 のぞみホーム

昨年同様のぞみホームの居住棟は玉野市内に4か所あり、17名の利用者が生活支援員や世話人のサポートを受けながら生活を営んでいます。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、日頃の過ごし方や生活全般において大きな影響がありました。特に外出等の自粛は利用者の興味や趣味の継続に様々な制約を与えることになっていましたが、利用者の方々の理解もあって屋内での過ごし方を工夫するなど、なんとか新しい楽しみを見つけながら生活しています。

見通しの持ちづらい社会の状況ですが、今後も利用者の健康の維持に努めながら少しでも生活の質と楽しさを高めていくことができたらと思っています。



## 相談支援事業所 のぞみ

相談支援事業所のぞみは地域の方の相談や施設入所されている方の相談を受け、計画の作成や制度の説明、サービス利用の評価の聞き取りなどを行っております。また、委託相談や認定調査を行い、より地域に密接した相談機関となれるよう日々、活動しております。

玉野市総合支援協議会の事務局として、利用者の方や地域の方、サービス提供事業所の意見や困った事などを協議会の事務局に反映し、地域全体の支援力が上がっていくよう他の機関と協力、協議を行っております。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、訪問や会議、面談が制限される中で利用者の方にとってよりよいご提案が出来るよう努めていきたいと思っております。



## 生活介護事業所 グレイス



度重なるコロナ対応で、行事の中止・縮小、来所者への制限、体温計測等の感染防止対策の徹底などによりご利用者及びご家族、関係者の皆様には御迷惑をお掛けしています。引き続き御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

さて、コロナ禍では「できないこと」ばかりが話題になりますが、グレイスでは、利用者の方にはいつもとは違う特別な時間を過ごしていただくため、「できること」を考えています。「社会見学」に代えて「ハロウィン行事」を、「買物学習」に代えて「お菓子の日」を、「ご家族や地域の方々を招いた夏祭り」に代えて「利用者と職員による夏祭り」を、コロナ収束を願って「アマビエのぬり絵会」の実施など、創意と工夫で利用者の方々に快適で充実した日々を過ごしていただけるよう、様々な活動に取り組んでいます。

## 就労継続支援B型事業所 フクちゃんのパン屋さん



フクちゃんのパン屋さんでは、一般雇用が困難な障害のある方に、就労の機会を提供し、充実した社会生活を送っていただけるよう、日々支援を行っています。

活動内容は、パン・菓子製造、店舗販売を中心に、施設外就労や珍味の袋詰め等の作業に取り組んできました。今後も、地域とのつながりを大切にしていきたいと思えます。新型コロナウイルスでの感染予防対策に取り組みつつ、工賃向上できるよう目指しています。

自治会の「コアラ会」では、土曜開所日の活動内容を考え、実施に向けて動けるように支援をしています。それぞれの個性を尊重しつつ、しっかりと就労意欲を持ちながら活動できるように心がけていきます。



## 就労継続支援A型事業所 ホープオブライフ



コロナ禍における当事業所への影響は、就労活動の一部自粛と、提携する食品製造企業からの業務契約縮小もあり、作業量の減少、就労収支の悪化を招きました。

令和2年度については、コロナ禍においても業務量が変動しない業種・業態の企業と提携をすすめ、農業資材と厨房設備を活用する新たな事業を創出して、安定した就労環境を確保することに注力しました。

企業提携では、岡山県農福連携サポートセンター様の仲介により間口ウエストロジ株式会社様と提携し、県内のJA農産物選果場で施設外就労の取り組みを始めました。

また、食品加工事業でポン菓子製造を準備しています。ポン菓子に使用できる穀類豆類は自家生産を予定しています。



# 同仁会 事業所の活動紹介

## 高齢者事業施設 笑福亭



小規模多機能型居宅介護 笑福亭の廃止に伴い、令和元年12月から通所事業所・居宅介護支援事業所として再スタートを目指してまいりましたが、笑福亭自体の人員不足により人員基準をクリアすることが困難となり、いずれの事業所も休止せざるを得なくなりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動や新規短期入所利用希望者へのサービス提供に多大な支障が生じましたが、そのような中でも、長期入院者の減少や速やかな入所案内が実施でき、笑福亭自体の利用稼働率は前年度を上回ることができました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、夏祭りなどのイベントの中止など、地域の皆様と関わる機会が激減しました。そのような中、感染対策を講じた上での外出ドライブなど、最小限ではありますが、ご利用者の気分転換が図れるよう努めて参りました。また、今回の影響で面会等の入館制限を設けざるを得ず、利用者の皆様やそのご家族の方々にはご心配とご不便をおかけしてまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金事業によるリモート面会システムの導入により、3月よりオンライン面会ができるようになりました。現在は、ご家族様にお越しただいて、面会室と各居室間で行っています。

## 放課後等デイサービス こだまクラブ



こだまクラブでは、異年齢による集団療育を軸とした音楽・身体・ものづくりをはじめ体験を通した取り組みに力を入れています。また個別の課題に合わせた取り組みも併せて行っています。

令和2年度はコロナ禍で社会見学や行事を見合わせましたが、地域散策や活動を工夫することで身近な自然や活動の良さを改めて実感しました。

クラブ恒例の米作りはバケツ栽培だけでなく田植えから収穫等の貴重な体験を通し事業所内外で好評をいただいています。

日中一時支援（学齢児）のニーズのある方のためにワンストップで利用できるように調整してご家族の便宜を図り、人数も増えてきました。

今後も子ども達の成長と笑顔を共に力を合わせて支えていきたいと思っております。

## 地域活動支援センター こだま

地域活動支援センターこだまでは、今年度から月曜日も開所とし、月曜日から金曜日までは生産活動体験訓練をしています。

新型コロナウイルスの関係で作業量の減少もありましたが、ペットフード袋のラベル・バーコード貼りという新しい作業も取り入れ、利用者一人ひとりが新しいことにも挑戦し、目標を持って取り組んでいます。

土、日、祝日は余暇活動を行っています。コロナ禍により、いろいろな制限のある生活の中ではありますが、社会体験や運動・簡単クッキング・製作活動・季節の行事を皆で仲良く楽しんでいます。

今後も、ご家庭との連携を図り、安全で利用者の方々楽しんでいただけるよう努めたいと思っております。





## 令和2年度 社会福祉法人 同仁会 決算報告

■ 貸借対照表 令和3年3月31日現在(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	207,887	流動負債	88,633
固定資産	1,233,835	固定負債	280,858
基本財産	1,048,865	負債の部合計	369,491
その他の固定資産	184,970	純資産の部	
		基本金	218,136
		国庫補助金等特別積立金	474,401
		その他の積立金	12,400
		次期繰越活動増減差額	367,294
		(うち当期活動増減差額)	-42,473
		純資産の部合計	1,072,231
資産の部合計	1,441,722	負債及び純資産の部合計	1,441,722

■ 資金収支計算書 令和3年3月31日現在(単位:千円)

		金額
事業活動による収支	収入	798,991
	支出	802,521
事業活動資金収支差額		-3,530
施設整備等による収支	収入	16,860
	支出	56,549
施設整備等資金収支差額		-39,689
その他の活動による収支	収入	9,848
	支出	7,320
その他の活動資金収支差額		2,528
当期資金収支差額合計		-40,691
前期末支払資金残高		214,584
当期末支払資金残高		173,892

■ 事業活動計算書 令和3年3月31日現在(単位:千円)

		金額
サービス活動増減の部	収益	788,541
	費用	836,121
サービス活動増減差額		-47,580
サービス活動外増減の部	収益	10,446
	費用	5,647
サービス活動外増減差額		4,799
経常増減差額		-42,781
特別増減の部	収益	15,690
	費用	15,382
特別増減差額		309
当期活動増減差額		-42,473
繰越活動増減差額の部		
前期繰越活動増減差額		403,767
当期末繰越活動増減差額		361,294
その他の積立金取崩額		6,000
その他の積立金積立額		
次期繰越活動増減差額		367,294

■ 財産目録 令和3年3月31日現在(単位:千円)

I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産	207,887	1. 流動負債	88,633
現金預金	84,228	事業未払金	30,251
事業未収金	117,642	その他の未払金	275
未収補助金	30		
未収補助金	2,063	1年以内支払予定設備資金借入金	29,380
貯蔵品	705	1年以内支払予定長期未払金	0
商品・製品	8	職員預り金	3,073
原材料	356	前受金	30
立替金	464	仮受金	2
前払金	743	賞与引当金	25,623
前払費用	1,601		
仮払	45		
2. 固定資産	1,233,835	2. 固定負債	280,858
(1) 基本財産	1,048,865	設備資金借入金	192,620
土地	231,115	長期運営資金借入金	26,339
建物	817,750	退職給付引当金	61,899
(2) その他の固定資産	184,970		
土地	6,830		
建物	24,837		
構築物	44,656		
機械及び装置	8,036		
車両運搬具	8,545		
器具及び備品	14,335		
権	222		
ソフトウェア(無形固定資産)	131		
退職給付引当資産	61,899		
人件費積立資産	1,000		
備品等購入積立資産	300		
設備整備等積立資産	11,100		
差入保証金	108		
長期前払費用	2,951		
その他の固定資産	20		
資産合計	1,441,722	負債合計	369,491
差引純資産	1,072,231		

## 令和2年度 社会福祉法人 自然の森 決算報告

■ 貸借対照表 令和3年3月31日現在(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	89,722	流動負債	29,737
固定資産	427,652	固定負債	36,750
基本財産	268,624	負債の部合計	66,487
その他の固定資産	159,028	純資産の部	
		基本金	106,748
		国庫補助金等特別積立金	127,850
		その他の積立金	2,000
		次期繰越活動増減差額	214,289
		(うち当期活動増減差額)	-30,005
		純資産の部合計	450,887
資産の部合計	517,374	負債及び純資産の部合計	517,374

■ 資金収支計算書 令和3年3月31日現在(単位:千円)

		金額
事業活動による収支	収入	422,869
	支出	436,074
事業活動資金収支差額		-13,205
施設整備等による収支	収入	2,244
	支出	4,501
施設整備等資金収支差額		-2,257
その他の活動による収支	収入	26,072
	支出	5,176
その他の活動資金収支差額		20,896
当期資金収支差額合計		5,434
前期末支払資金残高		69,204
当期末支払資金残高		74,638

■ 事業活動計算書 令和3年3月31日現在(単位:千円)

		金額
サービス活動増減の部	収益	430,011
	費用	464,590
サービス活動増減差額		-34,579
サービス活動外増減の部	収益	5,858
	費用	968
サービス活動外増減差額		4,890
経常増減差額		-29,689
特別増減の部	収益	2,154
	費用	2,470
特別増減差額		-315
当期活動増減差額		-30,005
繰越活動増減差額の部		
前期繰越活動増減差額		220,294
当期末繰越活動増減差額		190,289
その他の積立金取崩額		24,000
その他の積立金積立額		
次期繰越活動増減差額		214,289

■ 財産目録 令和3年3月31日現在(単位:千円)

I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産	89,722	1. 流動負債	29,737
現金預金	41,756	事業未払金	12,759
有価証券	10	その他の未払金	0
事業未収金	47,197		
未収補助金	0	1年以内支払予定設備資金借入金	1,653
未収補助金	0	1年以内支払予定長期未払金	0
貯蔵品	0	職員預り金	89
商品・製品	0	前受金	2,236
原材料	0	仮受金	0
立替金	308	賞与引当金	13,000
前払金	451		
前払費用	0		
仮払	0		
2. 固定資産	427,652	2. 固定負債	36,750
(1) 基本財産	268,624	設備資金借入金	0
土地	80,660	長期運営資金借入金	0
建物	187,964	リース債務	4,515
(2) その他の固定資産	159,028	退職給付引当金	32,235
土地	65,793		
建物	6,713		
建物附属設備	29,406		
構築物	2,955		
機械及び装置	371		
車両運搬具	4,512		
器具及び備品	8,259		
有形リース資産	6,168		
権	532		
ソフトウェア(無形固定資産)	0		
退職給付引当資産	32,235		
人件費積立資産	0		
工賃変動積立金	2,000		
備品等購入積立資産	0		
設備整備等積立資産	0		
差入保証金	84		
長期前払費用	0		
その他の固定資産	0		
資産合計	517,374	負債合計	66,487
差引純資産	450,887		



# 新型コロナウイルスのワクチン接種を行いました。

同仁会では、のぞみ園の交流ホームに新型コロナワクチン接種会場を設け、6月と7月の週末に人数を分けて2回のワクチン接種を行いました。

はじめてのワクチン接種でしたが、事前に説明をすることで利用者も混乱することなく落ち着いてワクチン接種を行うことができました。

ワクチン接種後は、微熱が出る利用者や職員が数名みられましたが、体調を大きく崩される方もおらず無事ワクチン接種が終了しています。



## のぞみ園アート活動の紹介

令和元年度に参加したkibiLabという企画で、片山卓さんとデザイナーが共同制作したデザインが果実工房のお菓子のパッケージに採用されました。その後、デザインを気に入ってくださったオカネツ工業の社長さんより、是非デザインを使わせてほしいとお話をいただき、オカネツ工業のトラックのボディと壁のイラストのデザインに採用されました。



デザイナーと障害のある方がチームを組み、児島にある高田織物株式会社から畳縁を使ったグッズのためのオリジナルデザインの制作を行いました。のぞみ園から越智小百合さんがこの企画に取り組み、描かれたカラフルでかわいい絵を使用して畳縁やペンケース、小銭入れ、きびだんごのパッケージなどの商品として完成させて美観地区にて販売しました。

商品は高田織物株式会社にあるFLATというショップにて販売しておりますので是非ご購入いただければと思います。



## 編集後記

コロナ禍で外出や日々の生活の我慢は続いています、新型コロナウイルスのワクチン接種が普及していき、少しですが希望が見えてきたと思っています。

のぞみ33号はこのコロナ禍の中で利用者、職員気持ちが折れることなく同仁会全体として日々の生活や支援を頑張っ取り組んでいる姿を見ていただき読んでくださった皆様の力になれたらと思っています。 担当者一同